

小学校〈総合的な学習の時間〉授業実践報告

「世界に目を向けよう ～シータちゃんの日～」

八王子市立鑑水小学校での6年生の総合的な学習の時間の実践を、朽木裕子先生に報告していただきました。

I 活動のねらい

本校では、6年生の総合的な学習の時間の中に「世界に目を向けよう」という国際理解について学んだり調べて発表したりする活動がある。5月には「世界一大きな授業」に参加し、児童は途上国の様子に興味をもった。そこで今回は国際協力NGOの学習教材『Because I am a

Girl』女の子にはチカラがある～未来を創るジェンダー教育～』よりアクティビティⅡ「シータちゃんの日」を使用して、女の子を取り巻く課題やその原因について学び、何ができるかを考えさせたいと願い、授業を行った。

II 学習活動(45分×2)の流れ

- 1 自分の平均的な一日をワークシートに記入し、色分けする。
 ・食事・睡眠・風呂…ピンク
 ・家の仕事……………黄
 ・勉強……………青
 ・自由時間・趣味の時間…緑
- 2 ある国の小さな村に住むシータちゃん(12才、女の子)の一日をワークシートに従って色分けする。
- 3 自分の一日とシータちゃんの日を比べて気がついたこと、考えたこと、疑問に思ったことをワークシートに記入し、発表する。
- 4 シータちゃんの弟アルン君(9才、男の子)の一日を同じようにワークシートに従って色分けする。
- 5 アルン君の一日とシータちゃんの日を比べ、気がついたこと、考えたこと、疑問に思ったことをワークシートに記入し、発表する。
- 6 シータちゃんの物語を読み、シータちゃんが学校に行けない理由に線を引く、思ったこと、感じたことをグループで話し合う。

- 7 グループごとに発表し、共有する。
 シータちゃんだけが特別なのではなく、世界には多くの女の子が貧困やジェンダーの不平等から厳しい状況にあること、その解決には個人の努力や意識変化だけでは解決できないことも多いこと、シータちゃんも大きなパワーや可能性を持っていること等を解説する。
- 8 授業を通しての感想や自分たちにできることを発表し、共有する。



ワークシートに取り組む子どもたち



使用したワークシート



児童の感想文

III 児童の感想

- 同じ子どもで同じ地球にいるのに国が変わるだけでこんなに一日がちがうのにおどろいた。
- 私は結婚のことなんて考えてないけど、シータちゃんはもう結婚のことを考えていて、とても早いと思った。
- 月曜日の朝、学校めんどくさいなと思っていたけど、学校や習い事に行けるのは幸せだなと思った。
- 男の子の方が女の子より大事という考えをやめて平等に扱い、みんな学校に行けるようになればいいな。そのために多くの人に知ってもら

- うことが大切だと思う。
- 自分たちにできることはシータちゃんやアルン君みたいな子がたくさんいるということを知って生活すること。
- いろいろな国にいろいろな常識があって、もしかしたら私が思っていた不幸、ちょっとしたお母さんの手伝いやお兄ちゃんとのけんか等はシータちゃんと比べてそんな大きなことじゃなかったんだなと思った。
- 今あるものを当たり前だと思わない。学校に行けることを家の人などに感謝する。

IV 授業をふりかえって

この学習を通して、自分たちの当たり前が、世界中の当たり前ではないこと、さまざまな困難や不平等の中で生活している子どもたちがいることを知り、自分の生活をふりかえり、自分たちにできることを考えた

りするきっかけとなったと感じる。これをきっかけとして、さらに途上国の暮らしに興味をもち、また、世界に目を向けていけるように支援していきたい。